

全室協を表敬訪問 課題解決へ共同で

フローリング協会

フローリング協会（小黒邦雄会長）は11月7日、全国建設室内工事業協会（石田信向会長）を表敬訪問し、



職人の確保や低単価など課題の解決に共同で取り組むことを確認した。写真。フローリング協会の小黒会長と外瀬泰宏副会長、小林伸久事務局長が全室協を訪れ、石田会長と猪狩国隆専務理事と会談し、それぞれの業界の実情や取り組みなどについて意見交換した。フローリング協会は、ことし6月に一般社団法人として新たなスタートを切った。

懇談では「職人はガソリン代や工具、手袋などすべて自分持ちだから600万円くらいもらわないとサラリーマンの年収400万円にはならない」「後契約、

後払いになっている現状を先契約、先払いにしなければ、課題は解決しない」「若い人に入ってきてもらい、定着してもらおうのが一番の課題だ」など、単価と人材の確保が共通課題として浮き彫りになった。